

No.262



青森県理学療法士会ニュース

2005年 新年の挨拶

県士会会長 伊藤和夫

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。日ごろ皆様には、多大な御協力をいただきありがとうございます。本年もなにとぞよろしくお願い申し上げます（役員改選の年ではありますが・・・）。

昨年は、青森での総会から始まり、新人歓迎会、宮城全国大会、現職者講習、特別講習会、奈良全研、秋田学会、症例検討（忘年会）とこの間の理事会 4 回で、ほぼ毎月の行事がありました。現職者講習会（PNF）は、会員のご要望により引き続き行なわれ、毎年若い受講生があとを絶えません。特別講習会は札幌医大の吉尾先生をお迎えし、好評を得ました。現在の PT 養成校数は 172 校、学年定数は 8,027 名（04 年 10 月現在）となりました。全国の社団法人士会は 29 士会ですが、平成 14 年以降の認可士会はありません。公益法人制度改革により、今後の対応が変化いたします（いずれ、全国の士会が法人格を取得できることとなります）。大韓民国水原市物理治療士会との交流は今年 3 月の県学会にお招きし、数名の発表（英語にて）を予定しております。また、念願の協定書を取り交わす予定になっております。東北学会は来年、本県が開催担当となります。事務局は東北メディカル学院をお願いいたしました。準備委員をはじめとして士会員皆様のご協力をお願いいたします。テーマは介護保険を取り上げてみたいと考えております。

さて、昨年は大幅なり八関係の診療報酬の改定はありませんでした。本年は、介護報酬の見直しの年度であり、昨年より「介護予防」が取り上げられております。実施は、2006 年度からになりますが、この年は診療報酬の改定の年度でもあります。二木氏は今後の医療分析を以下のように述べています（民医連医療,2004,12）。項目だけをあげますが、『「医療特区」での株式会社の医療機関経営解禁の実効性はない、混合診療は否定され、特定療養費制度拡大へ、保険者と医療機関の個別契約も実行可能性はない』、2005 年の介護保険制度改革の方向は、『保険給付範囲が縮小・制限され、利用者負担が増加するのは確実、厚労省はあくまで保険給付の伸び率の抑制を目的にしており、介護給付費の実額が今後も増加し続けることは容認している、「新予防給付」と「小規模・多機能型サービス」が新たに制度化される、（中略）、介護保険法がますます「高齢者慢性期医療・介護保険法」としての性格を強める』と述べています。さらに、2006 年診療報酬改定の展望として、『06 年改定は抜本的改定とはならない、3 回連続のマイナス改定か否かが争点、改定の中心は療養病床』としています。回復期リハ病棟にも触れ、『施設基準に自宅退院率を新たに加える、算定限度を 180 日から短縮あるいは逡減制の導入、入院料の引き下げか施設基準の二段階化（リハ認定医の有無）』などです。皆様方はいかがお考えでしょうか。

協会でも、会員数の増加、質（専門性）の確保、職域拡大、身分保障、等は長年時代を超えて議論されてきました。協会マスタープランとともに、時代（社会情勢）の背景は大きく変わりました。私たちは、その時々時代に対応できる理学療法士でなければなりません。やはり、職能団体の役割はいつの時代でも重要と考えます。

平成16年度第5回青森県理学療法士会理事会要約

日時：平成16年12月4日（土）午後3時～5時30分

場所：弘前大学医学部保健学科

出席者：伊藤和夫、小村博、相馬光明、佐藤比呂子、中村正直、山谷光仁、長谷川至、後藤明教
山田伸、村上三四郎

案件：

会議報告

東北ブロック協議会理事会：士会ニュース No.261 参照

全国士会長会議等報告：士会ニュース No.261 参照

各部局報告

1)事務局

<異動>

転入：中江秀幸 東北メディカル学院（宮城県士会より）

（敬称略）

山田瑞穂 自宅（福島県士会より）

宮川紀恵 健生病院（北海道士会より）

県内移動：

小田桐愛（県立保健大学へ）

<会費納入状況>

299人納入 / 321人（平成16年12月4日）

<忘年会>

平成16年12月4日6時30分～ 弘前鍛冶町「こな村」

2)学術局

1.第3回研修会（平成16年12月4日）於：弘前大学医学部保健学科

テーマ1：高齢者に対するレクリエーションのあり方

講師 佐近 慎平 先生（仙台医療福祉専門学校）

テーマ2：足関節捻挫の評価と治療のポイント

2.県士会症例検討会（平成16年12月5日）於：弘前大学医学部保健学科

演題は13題の予定（士会ニュース No.260 参照）

3.第4回研修会（平成17年2月5日予定）

肩関節&膝のスポーツ障害について（仮）

4.理学療法研究第22号について

現在、査読終了、特別寄稿の編集待ち

5.県士会学会（学会長：山谷光仁、準備委員長：村上三四郎）は、演題募集を開始した

6.機関誌「理学療法研究」のメディカルオンライン掲載について

過去5年分は無料で掲載できるので、それを前提に契約する

3)社会局

<保険制度対策>

- ・協会より『要介護高齢者の「起き上がり」「立ち上がり」能力と自己効力を高めるケアに関する調査』の依頼があり、約10名の士会員に協力をお願いした。

<介護予防事業>

- ・協会主催の研修会へ部員を派遣

<国際交流>

- ・3月の県士会学会に韓国水原市物理治療士会より4名来青の予定
協定書の調印および歓迎会を予定

4) 外交局

ホームページ管理を業者委託しているが、更新内容は、安田氏（青森労災病院）へ送る

5) その他

- ・ 第 24 回東北理学療法士学会について（当士会担当）
テーマおよび趣意書を再検討、また会場についても今後検討する
- ・ 新潟中越地震の対応について
協会より災害義援金の協力依頼あり、士会として 32,100 円を送金する

査定情報

社会局保険制度対策班 板井 英樹

個別療法において、「急性発症した脳血管疾患等の疾患の患者」については、発症後 90 日までの期間は、逓減制の適用除外となり、91 日目から月末までの期間については、当該月中の 11 単位目以降は所定点数の 70/100 により算定する。（04 年改定で解釈変更*）

すなわち、03 年までは、早期リハビリにおいて、月 11 単位越えても、期間が終了した次の日からリセットされ、10 単位までは逓減されませんでした。04 年からは、早期リハビリでの個別の単位がカウントされ、早期終了後は、11 単位以上であれば、70/100 で算定しなければならないということです。

情報を頂きました士会の方に厚く御礼申し上げます。

*引用文献：診療点数早見表平成 16 年 4 月版 P270 問 6

告 示

青森県理学療法士会
選挙管理委員会
委員長 向山 勇一

青森県理学療法士会役員の任期満了に伴い、青森県理学療法士会定款第10条及び同細則5により、来る定期総会において役員選挙を行います。

よってここに役員立候補を受け付けます。

1. 選挙権と被選挙権

平成17年1月11日現在の会員は、選挙権と被選挙権を有します。

2. 選挙すべき役員の種別と定数

会長	1名
理事	8名以上12名以内（会長を含まない）
監事	2名

3. 選挙期日

平成17年3月12日（定期総会）。

4. 立候補受付期間

告示日より平成17年1月24日までの14日間とします（当日消印有効）。

5. 立候補届出書の様式

本人の自由意志による立候補の場合は、「立候補届出書様式第1号」に基づいて、選挙管理委員長に届け出て下さい。

推薦による立候補の場合は、「立候補届出書様式第2号」を用い、推薦者3名の代表が本人の同意を得て、選挙管理委員長に届け出て下さい。

6. 立候補届出受領確認書の交付

届け出受領後は、立候補者本人に「届け出受領確認書」を交付します。

「届け出受領確認書」が届かない場合は、選挙管理委員長に申し出て下さい。

7. 立候補者の趣旨書

400字以内で下記の順に書き、届出書と一緒に提出して下さい。

氏名	年齢	勤務先	立候補の趣旨、主張、公約など
----	----	-----	----------------

8. 問い合わせと立候補届出先

立候補に関する問い合わせは、選挙管理委員長に直接御連絡下さい。

立候補届出書は「直接」又は「書留郵便」で選挙管理委員長に提出して下さい。

〒039-1517 三戸郡五戸町沢向17-3
五戸総合病院 リハビリテーション診療科
向山 勇一 宛
TEL 0178-61-1200（内線150）

症例検討会を終えて

むつ総合病院 川原田雅志

12月5日、弘前大学で行われた症例検討会に参加しました。

私は小脳梗塞を発症した右片麻痺の既往のある患者の歩行に対するアプローチについて発表しました。初めてのことで、わからないことが多くスライド作りや、原稿作りに苦労しましたが、当院の先輩の先生方から親身なご指導をいただき、なんとか発表できる形になりました。

今年 PT になって1年目でただ仕事をこなすので精一杯で、振り返る余裕がありませんでしたが、今回の症例検討会への参加は、一人の症例について自分が考えて行ったアプローチについてもう一度考察し、小脳梗塞や失調について勉強し直すよい機会となりました。

発表当日は、前日行われた県士会の忘年会のアルコールと、発表に対する不安でなかなか落ち着きませんでしたが、実際の発表の場は堅苦しいものでなく、多くの意見を交わせる和やかなものだったので安心しました。

今回の症例検討会はフリーディスカッションの時間が多くとられており、そこで発表に対する質問、意見から、発表に関係ない意見まで、先輩方の貴重な意見を聞くことができとても勉強になりました。

発表の準備は大変で、自分の考えをうまく伝えるように発表する難しさを身にしみて感じましたが、参加してよかったと思える研修会になりました。今後もこのような研修会を続け、発表者以外にも多くの方に参加していただき、発展して行ってほしいと思います。

第29回青森県理学療法士学会について（お知らせ）

第29回青森県理学療法士学会
学 会 長 山谷 光仁
準備委員長 村上三四郎

前略

ニュースNo.259にて、第29回青森県理学療法士学会の演題募集をいたしましたが、1月7日（金）の締め切りには間に合わないが、是非発表したいとの問い合わせがありました。そこで、学会長、準備委員長にて協議し、締め切りを延長することにしました。

演題募集締め切り日：2005年1月24日（月）

本学会は、症例報告、研究発表、地域活動報告、体験発表など、会員の皆様が今年度までに行ったあらゆる活動について報告し合い、意見交換を行える場として位置づけられています。発表に関してのご要望等がありましたら、気兼ねなく、学会長、準備委員長にお問い合わせ下さい。

草々

お詫び

ニュースNo.259の第29回青森県理学療法士学会のご案内において、記載間違いがありました。

3) 応募先および問い合わせ先

〒039-2595 七戸町影津裡 8 - 1
公立七戸病院 理学療法室
相坂 隆之 宛
TEL 0176-62-2105 FAX 0176-62-6964
メールアドレス：qygo1665@ybb.ne.jp

3) 応募先および問い合わせ先

〒039-2595 七戸町影津内 8 - 1
公立七戸病院 理学療法室
相坂 隆之 宛
TEL 0176-62-2105 FAX 0176-62-6964
メールアドレス：qygo1665@ybb.ne.jp

以上、訂正いたします（山谷）。

士会医療保険部より研修会のご案内

国民健康保険百石病院 板井 英樹

< 東京都士会・日本理学療法士協会共催研修会および東京都士会総会 >

1, 日時; 平成17年3月12日(土) 午後2時より

2, 場所; 東京医科歯科大学病院5階症例検討室

3, 内容:

午後2時~3時 「今後の医療保険制度のあり方」

- 理学療法に焦点をあてて -

講師; 厚生労働省保険局医療課長 麦谷 眞里 先生

司会; 日本理学療法士協会副会長 日下 隆一 先生

午後3時20分~4時 「診療報酬に対する協会・士会の取り組み」

講師; 日本理学療法士協会職能局保険部

東京都理学療法士会渉外局保険部長 千葉 哲也 先生

司会; 東京都理学療法士会渉外局長 福光 英彦 先生

問い合わせ先: 職能局 医療保険部 山本 康稔

e-mail: yamamoto@angelcourt.or.jp

TEL: 0426-51-5331

〒193-0811 東京都八王子市上壱分方町50-1

東京天使病院 リハビリテーション科

平成16年度第4回青森県理学療法士会研修会

日 時：平成17年2月5日（土）

場 所：青森県立保健大学

受 付：14:00～14:30

参 加 費：500円（1テーマにつき）

プログラム：【テーマ1】14:30～15:30

「投球障害の評価と治療のポイント」（専門領域）

講師；スポーツ理学療法部 中弘南黒・西北五ブロック部員

【テーマ2】15:40～17:50

「前十字靭帯損傷の評価と治療のポイント」（専門領域）

（15:40～16:40）

「前十字靭帯損傷に対する理学療法のポイント（仮題）」

講師；スポーツ理学療法部 東青・下北ブロック部員

（16:50～17:50）

「前十字靭帯再腱術について（仮題）」

講師；弘前大学医学部医学科整形外科学講座 講師 石橋恭之 先生

「新人教育プログラム」および「生涯学習基礎プログラム」の単位認定の対象となります。なお、単位認定が必要な方は、生涯学習手帳を必ず持参し、該当欄に必要事項を記入した上で押印を受けてください。

標記テーマ以外への読み替えについては、学術局までご相談ください。

出張用公文書が必要な方は、お早めに学術局までお問い合わせ下さい。

研修会の内容に関する問い合わせ先：
青森県立保健大学健康科学部理学療法学科
小田 桐 愛
TEL 017-765-2098 FAX 017-765-2099
E-mail：a_odagiri@auhw.ac.jp

生涯学習プログラム，読み替えテーマ等に関する問い合わせ先
（学術局連絡先）
弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻
長谷川 至
TEL&FAX 0172-39-5981
E-mail：pthase@cc.hirosaki-u.ac.jp

第4回青森県理学療法士会研修会抄録

『投球障害の評価と治療のポイント』

スポーツ理学療法部 中弘南黒・西北五ブロック部員

スポーツ部会弘前ブロックでは、月2回のペースで「投球障害肩」をテーマに勉強会を行っています。私たちはまず、「投球障害肩とは何か？」と考え、評価に必要な理学所見、疾患に対する理解、必要な解剖、プロの投球フォームを基にいわゆる正常な投球フォームの見方等について基本的な勉強をしてきました。

今回の研修では勉強会の一部を参加者に提供し、「投球障害肩」の患者さんを評価できることを目的に報告したいと思います。今後の投球障害肩に対する理学療法のレベルアップの一助にしたいと考えています。スポーツ肩素人の弘前ブロック一同お待ちしておりますので、皆様こそでご参加ください。

【財務部通信】

会費自動引き落とし者へ

平成16年度の自動引き落としが 5月27日(木)に行われました。下記へ振り込みをお願いします。

柳 郁子、大塚 聖子、桜庭 麗香、菊池 宏充、山下 奈津子

会費自動引き落とし以外者へ

下記へ振り込みをお願いします(12月21日現在)

澤田 隆憲、栗林 輝生、柳谷 誠、奈良 剛、中野 のぞみ、樋口 亜絹子、
三浦 純子、岩井 和広、大久保千明、伊藤紗岐子、佐々木千賀子
(12,000円のみ)

会費納入方法は下記の通りです。

士会費 12,000円の振込先 振込み手数料 210円

みちのく銀行 黒石支店 店番 024 口座番号 0117013
名義名 青森県理学療法士会 代表者 佐藤 洋

協会費 11,000円の振込先 振込み手数料 120円

郵便振替で 口座番号 00130-3-78642
加入者名 社団法人 日本理学療法士協会

通信欄に

記入例 [平成16年度会費 1名分 佐藤洋 8692] 協会会員番号
と記入して下さい。払込人住所氏名は、施設名の住所氏名で結構です。

【ニュース編集部通信】

今回の原稿締切は、平成17年1月25日(火曜日)です。
原稿を依頼された方、もしくは掲載記事をお持ちの方は、次頁の各支部担当に
フロッピーディスク、FAX、E-mailのいずれかにて、送付して下さい。

青森県士会ホームページアドレス

<http://www.aa.alpha-net.ne.jp/ptaomori/>

§ ニュース編集部支部担当者 §

東青・むつ下北：工藤 寛教（あおもり協立病院）

〒030-0847 青森市東大野2丁目1番地10号

TEL 017-762-5500 FAX 017-729-3260

E-mail: celeste_urg1@mail.goo.ne.jp

(電話・FAXは病院、メールアドレスは工藤先生個人のものであります。ご注意ください。)

三八・上十三：川口 恵理（シルバー病院）

〒039-1161 八戸市河原木字八太郎山10-444 TEL 0178-28-4000 FAX 0178-20-4962

E-mail: ptsilver4000@yahoo.co.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

中弘南黒・西北五：藤田 俊文（黎明郷リハビリテーション病院）

〒038-0194 南津軽郡碓ヶ関村碓ヶ関字湯向川添30 TEL 0172-45-2231 FAX 0172-45-2373

E-mail: reimeipt@h7.dion.ne.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

事務局ニュース編集部長；梅村 孝博（東北メディカル学院）

〒039-1522 五戸町字苗代沢3-6 TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034

E-mail: pt.umemura@rinken.ac.jp

編集委員；伴 久美子（黒石病院）

工藤 寛教（あおもり協立病院）

藤田 俊文（黎明郷リハビリテーション病院）

川口 恵理（シルバー病院）

豊嶋 大輔（八戸城北病院）

佐々木幸重（十和田東病院）

外交局広報部(HP担当)；安田 友久（青森労災病院）

////////////////////////////////////
編集後記

あけましておめでとうございます。昨年はどのような年だったでしょうか？そして、今年はどのような年になるのでしょうか・・・

年末年始にかけ、忘新年会と飲みの機会が多いと思いますが、みなさん体調の方は大丈夫でしょうか？昨年、県士会忘年会が開催され、各地区から大勢（？）参加して頂きました。新人から旧人までざっくばらんにいろいろな話をする事で、交流を深めることができたと思います。これからの県士会が、さらに発展するためにも情報交換会（飲み会？）の機会が必要なのでは・・・と考えています。今後、皆様の近くで開催されるときは足を運んでみてはどうでしょうか？いい（裏？）情報が聞けるかも・・・

（文責：藤田）
////////////////////////////////////

奥 付

編集；青森県理学療法士会

発行；PT 事務局・ときわ会病院リハビリテーション科内

〒038-1216

南津軽郡常盤村榊字亀田2-1

PHONE・FAX 0172-65-3698

E-mail；ptaomori@m16.alpha-net.ne.jp

(様式第1号)

立 候 補 届 出 書

平成 年 月 日

青森県理学療法士会
選挙管理委員長 殿

立候補役職名
氏名
生年月日
所属施設名

上記の通り立候補いたします。

立候補者氏名

印

(様式第2号)

推 薦 立 候 補 届 出 書

平成 年 月 日

青森県理学療法士会
選挙管理委員長 殿

立候補役職名
推薦者氏名
生年月日
所属施設名

上記の通り本人の了解を得て推薦いたします。

推薦人氏名

印

氏名

印

氏名

印

上記の通り推薦を受け立候補することを了承いたしました。

立候補者氏名

印